

単元名：自然災害を知り、海田町を守ろう
～みんなの命 守り隊～

男子18名 女子20名 計38名

指導者 小川 美恵子, 白石 絵美

単元について

○ 児童の実態

本学級の児童は、3年生の総合的な学習の時間「町のひみつ発見」において、自分たちの住んでいる町について調べ、伝え合う学習をしている。公共施設の見学や町で見かける点字ブロック、スロープなどから、誰もが利用しやすく暮らしやすい工夫に気付き、そこから課題を見付け、身近な福祉についての学習をしてきた。施設見学の他、アイマスクや車椅子体験、視覚障害者の方との交流を通して、体の不自由な人だけでなく、誰に対しても相手のことを考え、弱い立場の人を大切にすることを学んでおり、自分ができることを見付け、実践していこうとする意欲も育まれてきている。6月に行ったアンケート項目では、「課題について『なぜだろう』『やってみたい』と思います。」が肯定的評価92%、「課題について、『たぶんこうではないか』『こうすればできるのではないか』と予想しています。」が89%と、課題の解決に向けて意欲的に取り組む児童が多い。しかし、『自分の考えを積極的に伝えていきます』が71%、『授業では自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。』が60%と少なく、相手意識をもって調べたことを分かりやすく伝えようと工夫したり、積極的に自信をもって発信したりするまでに至っていない。

○ 単元観

海田町南部に位置する本校は、南部が山に面しており、海田町土砂災害ハザードマップによると校区の約半分が土砂災害危険地域に指定されている。北部には瀬野川が流れており、洪水ハザードマップによると校区のほとんど全域が危険地域に指定されている。実際、7月の豪雨災害では、甚大な被害を受け、家の中に土砂が入ってきたり、駐車場の車が土砂に埋もれたりするなど、自然災害の恐ろしさを目の当たりにし、自分たちの命を守るために防災の必要性を強く感じている児童が多い。本単元では、昨年度の4年生が取り組んだ防災を、さらにパワーアップし、すぐ役立つより実用的な「マイ防災袋」を作るという学習活動を通して、仲間と協力して解決策を見つけていき、さらにそれを分かりやすく伝えていこうと工夫していくことで、自分の成長やよさに気付き、災害時に命を守るための実践力を身につけることをねらいとしている。

○ 指導観

指導に当たっては、課題の設定①として、オリエンテーションを行い、昨年度の4年生が、「みんなの命守り隊」として行った取組を知らせる。いざという時のためにすぐ持ち出せる防災袋作りや、避難時に役立つ防災グッズの作り方を家族や海田南小のみんなに紹介したことなど知らせることで、自分たちも、昨年度の4年生みたいに、さらにパワーアップした防災の取組をしたいという気持ちをもたせる。情報収集①として、自然災害について、なぜ起きるのか、起きたらどうなるのか、避難方法の3つの観点で調べさせる。整理・分析①では、自然災害は誰の身にも起こりうるものであり、いつどこで起きるか分からないため、命を守るためには早めの避難や備えが必要であることに気付かせる。情報収集②として、海田南小学校区は地形的に自然災害の中でも特に土砂災害の危険性が高い地域であることを知らせ、さらに詳しい情報を得るために、広島県土木建築局砂防課の方を招いて話を聞く活動を仕組む。その中で、自分たちが住む場所も土砂災害危険地域に指定されていることに気付かせ、整理・分析②では、災害時にどうすればよいか、正確な情報の収集や避難の仕方、防災袋の必要性など、自分事として防災の取組の必然性を確信させる。課題設定②として、自分たちができる防災として、いざという時に避難できるように、持ち出せる防災袋作りの中身を考えていく課題を設定する。情報収集③では、「マイ防災袋」に必要な情報を調べ、自分にとって必要であるという根拠を明確にして「マイ防災袋」に入れるものと考えていく。整理・分析③では、防災袋作りには、家族構成(ペット)、年代、健康面など考えて、自分の家族に合う防災袋作りが必要であることに気付かせ、夏季休業中の課題として、家族と話し合いながら、家族に合う「マイ防災袋」を作らせる。課題設定③として2学期の初めに、防災の取組で学んだことを「みんなの命守り隊」発表会で家族や海田南小のみんなに紹介するという課題を設定する。そこでは、教師が作った「マイ防災袋」を全体で見直し、必要なものを、座標軸を用いて重要度の高低で整理することで、自分が夏休みに作った「マイ防災袋」について見直す機会にしたり、昨年度の4年生が紹介してくれた防災グッズを見直し

たりして、避難所ですぐに役立つ防災グッズにするには、身近さ、作りやすさ、汎用性、使いやすさ、軽量面などに着目すればよいことに気付かせる場とする。情報収集④では、避難所ですぐに役立つ防災グッズに着目させて情報を取集し、身近さ、作りやすさ、汎用性、使いやすさ、軽量面など考慮した防災グッズを選ぶ。まとめ・創造・表現①では、選んだ防災グッズを班で協力しながら作り、「みんなの命守り隊」発表会で紹介していく準備をさせる。整理・分析⑤では、どのような内容や方法で紹介するかを考えたり、リハーサルを行い、より分かりやすく紹介するためにどうすればよいか、5年生に見せてアドバイスをもらい、より分かりやすく紹介するための工夫を考えていく。まとめ・創造・表現②として、「みんなの命守り隊発表会」を開き、防災の取組で学んだ「命を守るために必要なこと」について発表したり、避難所ですぐに役立つ実用的な「防災グッズ」について知らせ、一緒に防災グッズ作りを体験してもらったりする。振り返りでは、「マイ防災袋」作りの取組を通して、自分自身の学びや成長に気付かせ、更に今後の防災についての自分なりの課題意識をもたせる場としたい。

単元の目標及び内容について

- 自然災害の恐ろしさや海田町の自然災害の危険性を知り、災害時に必要なことを調べることを通して、自然災害は様々な要因で常に一定ではなく、正しい情報を得て、早目の備えや避難が必要であることが分かる。【知識及び技能】
- 調べた情報を比較分類しながら整理し、解決策を考え、みんなの命を守り隊発表会で分かりやすく伝えることができる。【思考力、判断力、表現力等】
- 防災意識を高めるために、どのような活動ができるか見通しや目的をもち、自分たちにできることを考え、主体的に課題解決をするとともに、学んだことを今後の生活に生かそうとしている。【学びに向かう力、人間性等】

単元の評価規準

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害の恐ろしさや、海田町の自然災害の危険性を知り、災害時に必要なことを調べることを通して、自然災害は様々な要因で起こり、常に一定ではなく、正しい情報を得て、早目の備えや避難が必要であることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害について収集した情報を、みんなの命を守るためにできることに取り組むという目的に応じて整理することで、根拠を明確にして解決策を考えている。 ・みんなの命を守るために、誰にどのような方法で紹介するかを考え、みんなの命を守り隊発表会で分かりやすく伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災意識を高めるために、どのような活動ができるか見通しや目標をもち、自分たちにできることを考え、主体的に課題解決をするとともに、「マイ防災袋」作りの取組を通して学んだことを今後の生活に生かそうとしている。

単元で育成したい資質・能力

	A	B
【主体性】	<ul style="list-style-type: none"> ・災害への取組について具体的にアイデアを出し、「マイ防災袋」を作ろうとしている。 ・多様な方法で課題解決に必要な情報を集めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害への取組についてアイデアを出し、「マイ防災袋」を作ろうとしている。 ・課題解決に必要な情報を集めようとしている。
【思考力】	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に必要なことを調べ、いろいろな見方や考え方で、収集した情報を比較したり関連付けたりしながら整理し、みんなの命を守るために自分たちにできる解決策を根拠を明確にして考え、他者の考えと比較することで自分の考えを深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害について調べ、収集した情報を比較したり関連付けたりしながら整理し、みんなの命を守るために自分たちにできる解決策を根拠を明確にして考えている。
【自己理解】	<ul style="list-style-type: none"> ・「マイ防災袋」作りの取組を通して、自分自身の成長やよさに気づき、防災についての課題意識をもち、今後の生活に生かそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「マイ防災袋」作りの取組を通して、自分自身の成長やよさに気づき、今後の生活に生かそうとしている。

指導と評価の計画

全 30 時間

次	時	学習内容	評 価				
			知	考	学	評価規準 評価方法	
一	1	<p>課題の設定①(1) —オリエンテーション—</p> <p>○昨年度の4年生が総合的な学習の時間に取り組んだ内容を知らせ、自分たちも「みんなの命守り隊」として、さらにパワーアップした防災に取り組むという単元全体の大きな課題を設定する。</p> <p>・昨年度の4年生の取組を、写真を見ながら想起し、家族や海田南小のみんなの命を守るために、自分たちにできることをさらにパワーアップして取り組むという学習課題を設定する。</p>			○	<p>・家族や海田南小のみんなの命を守るために、自分たちにできることを、昨年度の4年生の取組より、さらにパワーアップして取り組むという学習課題を設定している。</p>	<p>発言 行動観察 ワークシート</p>
	2 5	<p>情報の収集①(4)</p> <p>○自然災害について本やインターネットで調べ、災害の恐ろしさや災害時に命を守るために必要な情報を収集する。</p> <p>・自然災害の種類 ・自然災害が、なぜ起きるのか、起きたらどうなるのか、避難方法の3つの観点で調べる。</p>			○	<p>・自然災害の種類を調べ、災害時に命を守るために必要な情報を、多様な方法から3つの観点で収集している。</p>	<p>ワークシート 行動観察</p>
	6 7	<p>整理・分析①(2)</p> <p>○自然災害(火山噴火、地震、津波、台風、洪水、土砂災害、少雨など)について調べたことを交流し、命を守るためには、早めの避難や備えが必要であることに気付く。</p>	○			<p>・情報収集したことを交流したことから、命を守るためには、早めの避難や備えが必要であることに気付いている。</p>	<p>発言 ワークシート</p>
	8 9	<p>情報の収集②(2)</p> <p>○広島県で一番起こりやすい土砂災害について、広島県土木建築局砂防課の方から話を聞き、土砂災害の恐ろしさや、災害時に命を守るために必要な情報を収集する。</p> <p>・土砂災害の種類、起きるしくみ、予防策を知る。 ・ハザードマップの確認・危険箇所の確認、避難場所の確認をする。</p>	○			<p>・広島県土木建築局砂防課の方から話から、土砂災害の恐ろしさや、災害時に命を守るために必要な情報を収集している。</p>	<p>発言 ワークシート 行動観察</p>
二	10	<p>整理・分析②(1)</p> <p>○収集した情報から災害時に必要だと思うことを交流し、自分たちができることを考える。</p> <p>・正確な情報の収集、避難の仕方、防災袋の必要性に気付く。</p>			○	<p>・収集した情報から、災害時には、正確な情報の収集や避難の仕方、防災袋の必要性に気付いている。</p>	<p>ワークシート 行動観察</p>
	11	<p>課題の設定②(1)</p> <p>○災害が起きたときに必要なものを話し合い、どんな防災袋の中身にするかを考え、課題を設定する。</p> <p>・防災袋の中身について必要なものを話し合い、自分の家族に合う「マイ防災袋」をつくるという課題を設定する。</p>			○	<p>・防災袋の中身について必要なものを話し合い、自分の家族に合う「マイ防災袋」をつくるという課題を設定している。</p>	<p>発言 ワークシート</p>
	12	<p>情報の収集③(1)</p> <p>○「マイ防災袋」に必要な情報を収集する。</p> <p>・本や新聞、インターネット、インタビューなどで情報を収集する。</p>			○	<p>・「マイ防災袋」に必要な情報を収集している。</p>	<p>発言 行動観察</p>

次	時	学習内容	評価				
			知	考	学	評価規準	評価方法
		<p>夏季休業中</p> <p>○家族に合う「マイ防災袋」作る。 ・夏季休業中に家族と話し合いながら、家族に合う「マイ防災袋」を作る。</p>					
三	15 ・ 16	<p>課題の設定③(2)</p> <p>○防災の取組で学んだことを、「みんなの命守り隊」発表会を開いて家族や海田南小のみんなに紹介するという課題を設定する。 ・教師が作った「マイ防災袋」を全体で見直し、必要なものを、座標軸を用いて重要度の高低で整理することで、自分が夏休みに作った「マイ防災袋」について見直す機会にする。 ・昨年度の4年生が紹介してくれた防災グッズを見直し、避難所ですぐに役立つ防災グッズにするには、身近さ、作りやすさ、汎用性、使いやすさ、軽量面などに着目すればよいことに気付く。【本時2/2】</p>			○	・「マイ防災袋」を見直すとともに、避難所ですぐに役立つ防災グッズにするためにどうすればよいか、身近さ、作りやすさ、汎用性、使いやすさ、軽量面などに着目して考え、発表会に向けて、これからの課題を設定している。	発言 ワークシート
	17 ・ 20	<p>情報の収集④(4)</p> <p>○避難所ですぐに役立つ、より実用的な「防災グッズ」にするための情報を収集する。 ・身近さ、作りやすさ、汎用性、使いやすさ、軽量面などに着目し、防災グッズ作りのための情報収集をする。</p>			○	・身近さ、作りやすさ、汎用性、使いやすさ、軽量面などに着目し、防災グッズ作りのための情報収集をしている。	発言 行動観察 ワークシート
	21	<p>整理・分析④(1)</p> <p>○収集した情報を整理し、紹介する防災グッズを決める。 ・身近さ、作りやすさ、汎用性、使いやすさ、軽量面などに着目し、よりよい防災グッズを選ぶ。</p>			○	・身近さ、作りやすさ、汎用性、使いやすさ、軽量面などに着目し、よりよい防災グッズを選んでいる。	発言 行動観察
	22	<p>まとめ・創造・表現①(1)</p> <p>○選んだ防災グッズを作る。 ・グループに分かれて、防災グッズを作る。</p>			○	・選んだ防災グッズをグループで協力しながら作っている。	発言 行動観察
	23 ・ 27	<p>整理・分析⑤(5)</p> <p>○「みんなの命守り隊」発表会で家族や海田南小のみんなに紹介する準備をする。 ・どのような内容や方法で紹介するかを考え、準備をする。 ・リハーサルを行い、より分かりやすく紹介するためにどうすればよいか、5年生に見せてアドバイスをもらう。 ・リハーサルのアドバイスをもとに紹介の仕方を見直す。</p>			○	・海田南小のみんなにどのような内容や方法で紹介するかを考え、より分かりやすく紹介しようと準備している。	発言 行動観察 ワークシート
	28 ・ 29	<p>まとめ・創造・表現②(2)</p> <p>○「みんなの命守り隊」発表会をする。 ・防災の取組で学んだ「命を守るために必要なこと」について発表する。 ・避難所で役立つ実用的な「防災グッズ」について知らせ、一緒に防災グッズ作りを体験する。</p>			○	・防災の取組で学んだことを、リハーサルを生かしながら意欲的に発表している。	発言 行動観察
四	30	<p>振り返り(1)</p> <p>学びのモニタリング</p> <p>○単元を振り返り、「マイ防災袋」作りの取組を通して、自分自身の学びや成長を振り返る。 ・今後の防災についての課題意識をもち、これから生活に生かしていきたいことについてまとめる。</p>			○	・単元を振り返り、防災についての課題意識をもち、これから生活に生かしていきたいことについてまとめている。	発言 ワークシート

本時の学習

(1) 本時の目標

- 昨年度の4年生が紹介してくれた防災グッズを見直し、避難所ですぐに役立つ防災グッズにするにはどうすればよいか考え、その理由を説明することができる。

(2) 本時の評価規準

- 避難所ですぐに役立つ防災グッズにするためにどうすればよいか、身近さ、作りやすさ、汎用性、使いやすさ、軽量面などに着目して考え、説明している。【思考力、判断力、表現力等】

(3) 本時の学習展開 (16 時間目 / 全 30 時間)

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力
1 前時を振り返り、学習のねらいを確認する。 ○防災袋を作るときに大切なことは何でしたか。 ・防災袋作りには、家族構成(ペット)、年代、健康面など考えて、自分の家族に合う防災袋作りが大切。 ・命に係わる点で重要度が高く、背負って避難しやすい重量であることが大切。 <めあて>	◇防災袋作りの目的を確認し、「マイ」の意味が一般の防災袋ではなく自分の家族に合う防災袋であることや避難しやすい重量で、避難所で役立つものであることを確認する。	
昨年度の4年生が紹介してくれた防災グッズを見直し、避難所ですぐに役立つ防災グッズにするにはどうすればよいか考え、その理由を説明しよう。		
本時のゴールの見通し		
A：避難所ですぐに役立つ防災グッズにするためにどうすればよいか、身近さ、作りやすさ、汎用性、使いやすさ、軽量面などに着目して考え、説得力のある説明をしている。 B：避難所ですぐに役立つ防災グッズにするためにどうすればよいか、身近さ、作りやすさ、汎用性、使いやすさ、軽量面などに着目して考え、説明している。		
2 避難所で困ったこと、不便だったことについて知る。 ○避難生活経験者の藤田先生、白石先生の話聞いてみましょう。 3 昨年度の4年生が紹介してくれた防災グッズを想起する。 ○昨年度の4年生が紹介してくれた防災グッズを見てみよう。 ・ろ過装置 ・新聞スリッパ ・ペットボトルランタン ・空き缶コンロ ・新聞紙クッション ・簡易おむつ	◇避難所での不便さや困り感について知らせ、重要度が高く、実用的で、避難所ですぐ役立つ防災グッズが必要であることを確認する。 ◇昨年度の4年生が紹介してくれた防災グッズの中から、実用的なものを実用的でないものどちらも混ぜて紹介し、比較して考えられるようにする。	

<p>4 どんな防災グッズにしたらいいか、提示した防災グッズをもとに考える。</p>	<p>◇理由を明確にして考えられるワークシートを用意して書かせる。</p>	<p>◎避難所ですぐに役立つ防災グッズにするには、どうすればよいか、身近さ、作りやすさ、汎用性、使いやすさ、軽量面などに着目して考え、説明している。〔思考力、判断力、表現力等〕（発言・ワークシート）</p>
<p>思考の場の工夫 理由付ける 避難所ですぐに役立つ実用的な防災グッズにすることを押さえて、そのための理由を明らかにして考えさせる。</p>	<p>◇答えが一つではない問題について考えさせることで、多様な考え方があることに気付かせる。</p>	
<p>5 全体で意見を交流する。 ○どんな防災グッズにすればよいか整理しましょう。</p>	<p>◇児童の考えを、身近さ、作りやすさ、汎用性、使いやすさ、軽量面のキーワードに気付かせるように整理して板書し、どんな防災グッズにすればよいか、視覚的に分かりやすくする。</p>	
<p>6 本時の学習を振り返る。</p>		
<p>★めざす児童の姿 (身近さ、作りやすさ、汎用性、使いやすさ、軽量面などに着目して考え、説明していればよい。) A：濁った水を飲料水にするためのろ過装置は、確かに役立つ装置だけど、すぐには必要ないと思います。防災袋の中に飲料水は入れているし、避難所では、水の配給もあるので、あまり実用的でないと思います。また、木炭や小石、砂利などの準備も大変で、特に木炭は、身近になく用意しにくいと思います。だから、身近な材料で簡単にできるものにすればいいと思います。 B：新聞スリッパは、新聞紙とガムテープで作るので、簡単に作れそうでいいグッズだと思います。また、新聞紙は用意しやすいので便利な材料だと思います。</p>		
	<p>◇次時からは、身近さ、作りやすさ、汎用性、使いやすさ、軽量面などに着目して、避難所で役立つ防災グッズ作りのための情報収集をしていくことを確認する。</p>	

(4) 板書計画

自然災害を知り、海田町を守ろう
～みんなの命守り隊～

㊦ 昨年度の防災グッズを見直し、ひなん所ですぐ役立つ防災グッズにするにはどうすればよいかを考えよう。

<すぐ役立つ>

ろかそうち

空き缶コンロ

<理由>

<すぐ役立つ>

簡易おむつ

<理由>

<すぐ役立つ>

新聞スリッパ

新聞紙
クッション

ペットボトル
ランタン

㊧ ひなん所ですぐ役立つ防災グッズにするためには、身近にあるもの、かんたんに作れる、いろいろなものに使える、使いやすさ、持ち運べる重さなどを考えたものにすればよい。

〈参考〉 学びのモニタリング

学びのモニタリング

自然災害を知り，海田町を守ろう
～みんなの命 守り隊～

4年 組 番 ()

自分から取り組む力

・みんなの命を守るために自然災害や災害時に必要な情報を集め，自分たちにできることを考えて，意欲的に自分にできることに取り組んだ。

(とてもよくできた よくできた あまりできなかった できなかった)

〈理由〉

深く考える力

・自分や友達が調べたことを整理・分析して，解決方法や自分にできる取り組みについて考えた。

(とてもよくできた よくできた あまりできなかった できなかった)

〈理由〉

自分をふりかえろう

・自然災害を知り，海田町のみんなの命を守るための取り組みについて考えたことやがんばったこと，そして，単元を通しての学び方について振り返りましょう。

〈自分が成長したと思うこと〉

〈次の目標〉